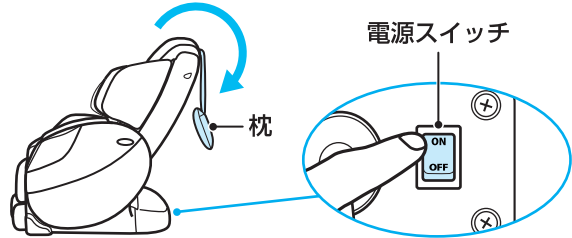


TR-500 カンタン操作ガイド

1 主電源ランプが点灯していることを確認する。
点灯していない場合は、本体後側の下部にある電源スイッチを「ON」にする。

2 枕を後に回して、座る。



3 背部と脚部をお好みの位置に合わせる。

- 背部：
- 背もたれ部が起き上がる
 - 背もたれ部が倒れ、脚部が上がる
- 脚部：
- 脚部が上がる
 - 脚部が下がる

4 **自動** を押し、お好みのコースを選択する。
※選択した自動コースのランプが点灯します。

自動コースの種類

- 全身** 全身のコリや疲れをしっかりとやわらげるコース
- 肩** 肩・背部のコリや疲れをやわらげるコース
- 腰** 腰部のコリや疲れをやわらげるコース
- ストレッチ** ストレッチ動作を中心としたマッサージコース

5 自動コースを選択すると脚部が上がリ、もみ玉が肩位置を自動的に検知する。
検知した肩位置は、**調節** を押して変更できる。



自動コース動作中の調節

肩位置を調節したいとき

調節 で肩位置の高さを 7 段階から選択

肩の強さを調節したいとき

肩 で肩強さを 5 段階から選択

背の強さを調節したいとき

背 で背強さを 2 段階から選択

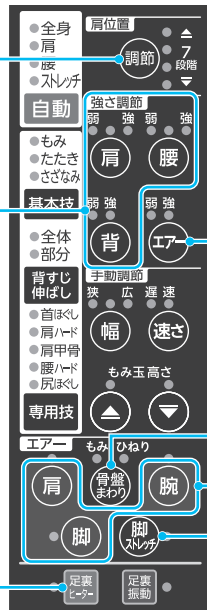
腰の強さを調節したいとき

腰 で腰強さを 5 段階から選択

ヒーターを「入/切」したいとき

足裏ヒーター を押す

- ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
- 単独で使用する場合、90 秒間のみ動作します。



エア強さを調節したいとき

エア エア強さを 2 段階で調節

- エア強さは部位ごとに調節できません。

骨盤まわりエアを「入/切」したいとき

骨盤まわり を押す

- ボタンを押すごとに「もみ」→「ひねり」→「切」と切り替わります。

肩・腕・脚エアを「入/切」したいとき

肩 腕 脚 を押す

- ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。

脚ストレッチをしたいとき

脚ストレッチ を押す

- ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
- フットレストの状態でも脚ストレッチは動作します。
- 脚ストレッチが「入」の状態でも脚エアを「切」にすると、脚ストレッチも同時に「切」に切り替わります。

強さのランプ

強さ	ランプの点灯	
	5 段階 (肩・腰)	2 段階 (背・エア)
弱 1	○ ● ● ● ●	○ ●
2	○ ○ ● ● ●	● ○
3	● ● ○ ● ●	○…点灯 ●…消灯
4	● ● ○ ○ ●	
強 5	● ● ● ○ ●	

ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

警告

- (1) 使用前には、必ず背もたれ部のカバーやその他の部分が破れていないか確認する。破れがあった場合は、どんなに小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼する。
- (2) 絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理しない。
- (3) アースを確実に取り付ける。アースなしでは使用しない。
- (4) 使い始めは、弱い刺激でマッサージする。
- (5) マッサージをするときは、ピアス・イヤリング・ネックレス・襟巻きなどの装飾品をつけたまま使用しない。
- (6) 頭部に髪飾りなどの硬いものをつけて使用しない。
- (7) 腰・尻・ももをマッサージするときは、衣服（ズボンなど）のポケットに硬いものを入れたまま使用しない。
- (8) 手や腕をマッサージをするときは、つけ爪・時計・指輪・ブレスレットなどの硬いものを装着したまま使用しない。
- (9) 次の人は使用しない。
医師からマッサージを禁じられている人
(例：血栓 [そく (塞) 栓] 症、重度の動脈りゅう (瘤)、急性静脈りゅう (瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症 (皮下組織の炎症を含む) など)
- (10) 医師の治療を受けている人や心臓などに障害のある人、または身体に異常を感じているときは、必ず医師と相談のうえ、使用する。(詳しくは取扱説明書を参照)
- (11) お子様やご自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。
- (12) お子様を椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。
- (13) リクライニングするときは、必ず周囲 (本体の後部、前部、側部、下部など) に人やペット、物がいないことを確認する。
- (14) ヒーターは長時間使用しない。また、同一箇所に長時間触れるような使い方をしない。
- (15) 使用にあたっては、取扱説明書をお読みください。